

特集

主体的に 学ぶ力を育む

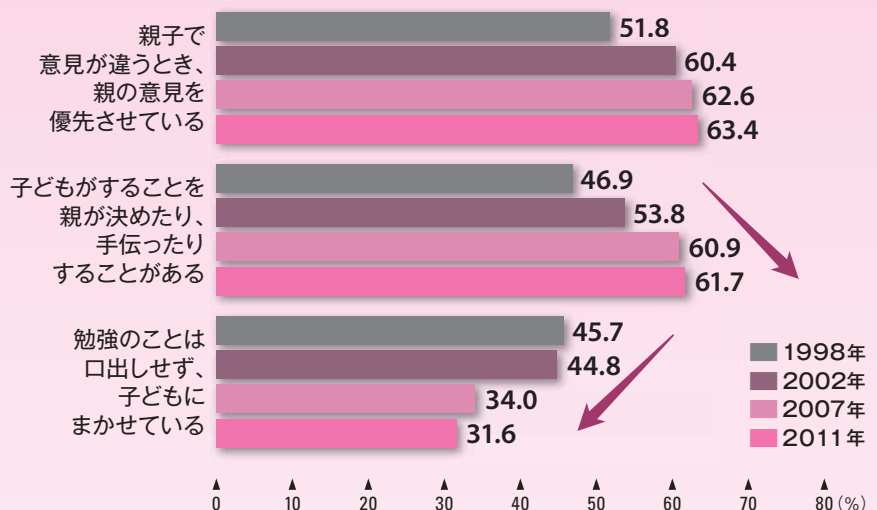
—— 学び方の工夫で学習意欲を高める

なかなか自分から行動できず、「指示待ち」の子どもの姿勢が気になるという声をよく聞く。ベネッセ教育総合研究所の調査では、子どもへの母親の関与が強まっているという傾向も明らかになっており、これも要因の1つであろう。

しかし、これからの社会を生き抜くために、学力だけではなく、意欲や主体性が必要であることは言うまでもない。

本特集では、「主体的に学ぶ力」を小学校教育で育むために、どのような指導の工夫が出来るのかを考えたい。

子どもがすることに母親の関与が強まる一方、勉強への口出しは減少



注1) 「とてもあてはまる」＋「まああてはまる」の％
注2) 小学3～6年生の母親を対象に調査 注3) 全12項目中、3項目を抜粋して図示
出典／ベネッセ教育総合研究所「第4回子育て生活基本調査(小中版)」(2012)